

## サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 あて

提出日:令和 2 年 3 月 9日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
	○	小規模多機能型居宅介護	○	介護予防小規模多機能型居宅介護
	看護小規模多機能型居宅介護			
事業所番号	4490300102			
事業所名	小規模多機能の家 水車			
法人名 代表者名	NPO法人 福祉の里なかつ応援隊 武下 英二			
事業所所在地	(〒879-0111) 中津市大字伊藤田 1064 番地 1			
担当者名	永光 和明			
連絡先	電話	0979-32-0337	FAX	0979-32-0337
	mail	qqkk6bk9k@angel.ocn.ne.jp		



以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	令和 2年 1月 21 日
-----------------	---------------

「**※要提出**」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
<input type="checkbox"/> <b>※要提出</b>	・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表…………… 公表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	
	・(別紙2-1) スタッフ個別評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> <b>※要提出</b>	・(別紙2-2) 事業所自己評価…………… 公表
	・(別紙2-3) 地域からの評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> <b>※要提出</b>	・(別紙2-4) サービス評価総括表…………… 公表

看護小規模多機能型居宅介護	
	・(別紙3-1) 従業者等自己評価…………… 事業所にて保管
	・(別紙3-2) 事業所自己評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> <b>※要提出</b>	・(別紙3-3) 運営推進会議における評価…………… 公表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和1年11月16日(18:30 ~ 20:30)				
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	宮本 山本 永光 永吉 近藤 藤川 加藤 犬尾 一井 伊藤 山崎 武石 蓼沼				

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	3人	0人	13人

前回の改善計画	家族や本人に対して不安やニーズを聞き取り、早期に信頼関係を構築する。本人が何ができて、どこを手助けして欲しいか見極める。フェイスシートやケアプランを詳細に読み、職員間でも細目に情報交換を行っていく。職員一人ひとりの支援方法の見直しやコミュニケーション能力向上に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアプランとは別に個別プランを作成して、サービス開始前から職員間で情報共有を図った。事前の打ち合わせや確認を何度か行い一つのシートにして全員へ申し送り情報の共有を図った。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	3		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	3		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	6	2		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	6	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の情報やニーズについては、フェイスシート等、書面で共有できている。利用者が慣れていない時期の声かけ、気遣いはできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
情報シートでの閲覧方式であり情報の伝達に職員間で個人差が出てくる。初回利用の際、送迎や電話以外での家族とのやり取りが少ない為、関係作りがなかなか出来ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の聞き取りの情報やその都度、得られた情報は確実に閲覧、情報を共有して閲覧印を押す。疑問、質問があればリーダーや管理者に確認する。家族からの情報は確実にノートやミーティングで申し送る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和1年11月16日(18:30 ~20:30)							
2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	宮本 一井	山本 伊藤	永光 山崎	永吉 武石	近藤 蓼沼	藤川	加藤	犬尾

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	5人	人	13人

前回の改善計画	当面の目標を実現しながら本人の本音を聞き出す。今までできている事に注目して継続できるように声かけや手助けをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	モニタリング、サービス担当者会議を利用して本人の目標を理解するように努めたが、自分の意思を表現できる方、出来ない方がおり十分に思いをくみ取る事が出来なかった。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4	5	4		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	7	5	1		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	5	4	4		13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	5	4		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月のモニタリングを実施して、担当者が定期的に見直しを行い支援方法を検討した。結果をシートに残し共有した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の訴えが強い人への対応が中心となり職員の思いで、対応している所があった。個別ケアプラン等をいつでも見られるように、リーダーの席においていたが日々の業務に追われてケアプラン等を見ていなかった職員が見受けられた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
担当職員がケアプランと個別計画書の連動性を自分で確認して毎月モニタリングを実施、結果をシートに残す。担当者会議には、担当の職員がなるべく出席し本人との信頼関係を築いていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年11月16日(18:30 ~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 宮本 山本 永光 永吉 近藤 藤川 加藤 犬尾  
一井 伊藤 山崎 武石 蓼沼

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	5人	1人	人	13人

前回の改善計画
本人や家族への聞き取りを工夫しながら支援する。本人とのコミュニケーションや送迎、面会時に家族と会った際に話しの中で以前の暮らしなど聞き取るように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
電話や連絡ノートの活用で、家族との連携が図れた感じがします。医療ニーズの高い利用者には、職員間で共有し医療機関へつなげた例もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3	7	3		13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	4	1		13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	6	2		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	5	2		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	4	5		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	体調や気持ちの変化に気づいたら看護師や管理者へ報告し情報共有している。常日頃から表情や行動に気をつけ見守りを行った。家族との連絡ノートを活用して体調の変化の把握に努めた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	日々の業務に追われて利用者との関わりが少なくなっている面があり気持ちの変化に気づかないでそのままになっていた事があった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	本人との日々の関わりや家族との交流で、自宅での暮らし方を情報収集して、把握して行く。又利用者の入浴支援や個別対応時の会話の中でも本人の思いをくみ取り他職員へ情報提供する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和1年11月16日(18:30 ~20:30)					
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	宮本 一井	山本 伊藤	永光 山崎	永吉 武石	近藤 藤川	加藤 犬尾

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	1人	1人	13人

## 前回の改善計画

今後も地域参加ができるように、地域行事への参加支援を行う。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

地元小学校との交流や地元の催し(文化祭、コスモス見学、菊花展)等に参加して社会資源を活用して利用者に喜ばれた。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	8	4	1		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6	6	1		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5	6	2		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4	6	3		13

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

送迎時や面会、連絡ノート等で家族とのコミュニケーションを図り情報交換を行い、信頼関係に努めた。各職員が担当を持ち本人の現在の状況や環境の把握に努めて、本人のどのように日常生活を過ごしているのかを把握した。

## できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域資源を利用している利用者が数名いるが確認、把握していない職員がいる。家族が遠方であったり、家族との交流や連携が図れていない為、本人の生活状況が把握しきれない所がある。帰宅後や利用日でない自宅での生活リズムや家族との関係性が分からない所がある。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

スタッフ会議の中で、勉強会を実施して行く又担当している利用者が活用している社会資源がどのようなものか確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和1年11月16日(18:30 ~20:30)							
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	宮本 一井	山本 伊藤	永光 山崎	永吉 武石	近藤 蓼沼	藤川	加藤	犬尾

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	5人	1人	人	13人

前回の改善計画	確認した情報は職員に伝え申し送りノートに記入して情報共有を図る。職員一人ひとりの利用者へ対応の仕方などで、本人の気持ちも変化することに気づき、その変化を職員間で共有していく必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果	多機能の特性については、契約時や必要時に本人や家族へ説明して理解してもらえるように対応した。必要であれば家族に変更依頼して協力してもらった。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	4	3		13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	6	0		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	5	2		13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	5	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の希望や状態変化、家族の意向等で相談があれば利用日の変更や追加利用、急な泊りや訪問、食事内容、送迎時間の変更等柔軟に対応した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
定められた定員の都合や利用変更、送迎時間の変更、送迎場所の指定等、職員のミスで伝わらなかつたり報告がなかった為、柔軟な対応が一部できなかった。宿泊や通い希望は本人の意向やニーズより家族の意向が優先されているケースがあった。新しいケアの変更、サービスの追加等頻繁に行われ上手く共有や情報の伝達ができない時があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
家族や本人から変更の要請があった場合には、申し送りノートに記入、朝、夕のミーティングで再確認を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和1年11月16日(18:30 ~ 20:30)							
6. 連携・協働	メンバー	宮本 一井	山本 伊藤	永光 山崎	永吉 武石	近藤 藤沼	藤川	加藤	犬尾

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	2人	0人	13人

前回の改善計画	介護職が参加できる会議があれば参加する。その他のサービス機関や地域の働きを知り、どの様な繋がりがあり本人にどのように、支援されているか理解する。
前回の改善計画に対する取組み結果	担当者会議に多職種協働で参加できるように、調整したが、勤務体制や時間の都合で全員が参加するまでには至らなかった。施設の避難訓練に地域の方々に初めて参加してもらった。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	5	5	3		13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	5	4		13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	4	4	5		13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	8	4	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ボランティア活動や施設の秋祭り、避難訓練等に地域の方々に参加してもらい地域との交流を図った。
--------	--------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 施設行事等へ地域の方や外部から参加してもらおう事はあっても施設側より包括や地域の各種機関の活動やイベントへの参加は殆どできていない。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 中津市内の小規模多機能連絡会の交流を図る。他施設の運営推進会議開催時に、職員を1名参加させる。地域の団体の活動やイベントについて把握し内容を確認する。担当職員が担当者会議に出席できるように今後も調整して行く。
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和1年11月16日(18:30 ~20:30)							
7. 運営	メンバー	宮本 一井	山本 伊藤	永光 山崎	永吉 武石	近藤 蓼沼	藤川	加藤	犬尾

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	4人	3人	人	13人

前回の改善計画	職員関係を良好にして、より良い環境を築きあげ事業所の質の向上へつなげる。職員1人ひとり責任をもって行動をとる。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者や家族からの意見、苦情があれば真摯に受け止め、職員同士情報を共有し今後の対策をしっかりと考えるように取り組んだ。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	7	4	2		13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	4	1		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	4	4		13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	7	3	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 定期的に職員との面談を行い、気軽に相談や意見が出せるような機会や話しができるような雰囲気作りをした。運営推進会議を通じて地域の方々の意見交換や情報を職員間で共有した。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方が事業所に来設する機会が少ない。運営推進会議について、その目的等基本的な情報をもっていない職員がいる。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) スタッフ会議やミーティング等で運営推進会議の基本的な知識を勉強、会議の伝達や地域からの意見を随時報告し、運営推進会議では施設内での取組みを報告して行く。
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和1年11月16日(18:30 ~20:30)							
8. 質を向上するための取組み	メンバー	宮本	山本	永光	永吉	近藤	藤川	加藤	犬尾
		一井	伊藤	山崎	武石	蓼沼			

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	4人	3人	人	13人

前回の改善計画	勉強会や研修会にできる限り参加して目標をもって業務にあたる。研修会に参加後、伝達講習を行い多職種協働と共有し事業所全体のスキルアップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修会や内部研修参加、委員会での取り組み実施やスタッフでの話し合いを随意に行い共有する中で気づきが多く持てるようになった。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	10	3	0		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	5	0		13
③	地域連絡会に参加していますか	2	6	5		13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	8	2	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ヒヤリハット、事故報告書は速やかに報告し対策については、その都度、検討しリスクマネジメントに努めた。ヒヤリハットについては、どんな些細なことでも気づきとして、書面に書き出し職員同士話し合いの場を設けて観覧し周知した。なるべく多くの内部、外部研修に参加できるように勤務調整し、学んだ事を現場で活かせるように努力した。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 対策を検討して細心の注意を払ったが、同じような事案が起きてしまった。連絡会や外部研修の情報が少ない。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 研修の案内や情報は職員各自で確認する。職員各自で研修について率先的に調べ申し込みをするヒヤリハットについては、常に意識をもち引き続き多く出し合い検討して行く。
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和1年11月16日(18:30 ~20:30)					
9. 人権・プライバシー	メンバー	宮本 一井	山本 伊藤	永光 山崎	永吉 武石	近藤 藤川 加藤 犬尾	藤川 加藤 犬尾

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	5人	2人	人	13人

前回の改善計画	ケア前に、事前に了承を得るなどして、少しでも心地の良いケアをしていく。言葉遣いや不適切なケアに十分注意して意識して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ会議やミーティングの時に、権利擁護の説明や研修を行い、職員への取り組みを行った。又接遇についても内部研修会等言い言葉遣いや接客態度等について再検討を行った。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	5			13
②	虐待は行われていない	11	2			13
③	プライバシーが守られている	7	5	1		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	10	1		13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	5	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
拘束や虐待、グレーゾーンについて意識調査を行った。又スタッフ会議等で話し合いや学習会を通じ防止への知識や日々の介護への振り返りができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度について理解している職員は少ない。日々の利用者への声かけや介助の中で、これはグレーゾーンではないかと感じた事があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
拘束、虐待、グレーゾーンについて引き続き研修やアンケート調査を実施し、繰り返し、学習して意識を高めていく。	

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定営利活動法人 福祉の里なかつ応援隊	代表者	理事長 武下 英二	法人・ 事業所 の特徴	事業所敷地内に庭園があり四季折々の野菜や花が咲きます。通い、訪問、宿泊のサービスを組み合わせ、利用者の今までの暮らしに合わせた支援をさせて頂きます。自宅に居ると同じような環境で過ごして頂いています。
事業所名	小規模多機能の家 水車	管理者	宮本 諭		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	2人	2人	1人	人	4人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善内容を意識し、月1回のスタッフ会議で途中経過を話し合い評価していく。	利用者全員の個別プランを職員とケアマネと協働で作成して家族の思い、支援方法について情報共有を行った。スタッフ会議で経過報告して評価を行った。	本人、家族の意見等具体的に聞くことができて良かった。職員間で情報共有ができた。就業前にその日の利用者の個別プランを参照して業務に就いた。	毎月のスタッフ会議等で評価の振り返りや改善計画へ取り組んでいく。職員に評価の学習会を開き理解や意思統一を図っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	困りごとがあった時に、気軽に相談できる拠点を目指す。	家族や地域の方に気軽に参加できる行事、ボランティアを企画して来設しやすい環境作りに努めた。	家族や地域の方、来設時はイメージアップを図る為、挨拶の励行に努めた。	随時、見学や困り事が相談できる施設である事をPRしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	困ったら最初の窓口としてまず相談してもらえるように努める。地域の方が気軽に来設できるように挨拶の徹底を図る。	相談や問い合わせがあった場合は顔の見える関係作りに努めた。	近隣の方で、何の施設か理解出来ていない方がいる。気軽に相談できる施設作りを目指したい。	見学、ボランティア活動を柔軟に受け入れながら地域の活動を進めていく。施設が介護相談所窓口であることを地域行事参加時に発信していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	その方が住んでいる地域の行事や催しの把握を行い、必要に応じて地域の民生委員等と連携を取り支援を行っていく。	事業所のサービスの柔軟性を生かして地域のイベントなどに利用者と共に参加し、地域で共に支え合う環境作りに努めた。	健康体操(週1回体操)が開催されるようになり、地域の方々に集まって頂ける機会をもって頂いた事から施設運営事業を話す機会も増えたように思う。	地域の行事に参加しながら情報提供、情報交換をしていく機会を定着していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	課題についての取組みや改善計画の状況等を運営推進会議にて適宜報告する。現場スタッフにも発言する機会を増やす	地域の中で、心配な方や困っている人がいないのか会議の中で確認した。困り事や事例があれば意見交換や検討を行った。	地域の高齢者の生活ニーズにも着目した行動が必要と思われるがどこまで具体的な話しをすればよいか戸惑う時がある。	他施設の運営推進会議に職員が参加できる機会を作る。自施設の会議においても職員が交代で参加できるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	災害時に備え、備蓄を考える。消防避難訓練(年2回)継続していく。地域住民や消防署職員の参加を継続していく。	消防避難訓練に地域の方々に参加して頂いた。ハザードマップを作成してスタッフ会議で研修を行った。	地域で災害時にどのような協力ができるのか少し教えて欲しいとの意見があった。	地域と協働した取り組みが今後行えるように、防災コミュニティや地区での防災活動に積極的に参加する。